

14時30分解禁

平成30年11月 全国百貨店売上高概況

平成30年12月21日

I. 概 況

1. 売上高総額	5,304億円余
2. 前年同月比	-0.6% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス)
3. 調査対象百貨店	79社 219店 (平成30年10月対比±0店)
4. 総店舗面積	5,495,720㎡ (前年同月比:-3.4%)
5. 総従業員数	68,301人 (前年同月比:-4.5%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	4-6月 0.6%、5-7月 -1.9%、6-8月 -1.3%、 7-9月 -3.4%、8-10月 -0.4%、9-11月 -0.6%

[参考] 平成29年11月の売上高増減率は2.2% (店舗数調整後)

【特 徴】

11月の売上高は0.6%減(2か月ぶりマイナス)と前年実績には僅かに届かなかった。高額品やインバウンド売上は好調だったものの、気温が高めに推移し、コートを中心とした重衣料など冬物商材の動きが鈍かった他、土曜日1日減などのマイナス要因も響いた。

顧客別では、国内市場(シェア94.8%/1.1%減)はマイナスしたが、インバウンドは277億円(シェア5.2%/9.6%増)と24か月連続でプラスすると共に、1月~11月累計で初めて3,000億円を超え(3,094億円/前年同期比27.8%増)年間記録としての過去最高を更新した。

地区別では、10都市が0.2%増と2か月連続プラス。札幌をはじめ6都市(札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡)で前年をクリアした。地方(10都市以外の地区)は2.3%減となったが、2地区(北海道、近畿)でプラスし、大都市との格差は前月より0.4ポイント縮小した。

商品別では、雑貨が5.4%増と24か月連続プラス。引き続き国内外共に人気の化粧品や高級腕時計を含む高額商材(美術・宝飾・貴金属)が牽引した。身のまわり品(4.2%増)もラグジュアリーブランドを中心に動きが良く、2か月連続のプラスとなった。

衣料品(4.5%減)は、天候与件からニットやカットソーなど軽衣料は動いたものの、重衣料や防寒アイテムが苦戦した。食料品は0.1%減とほぼ前年並み。鍋関連商材の不調により、生鮮食品などがマイナスしたが、菓子は1.8%増と2か月連続でプラスした。歳暮商戦前半戦は、特にWEB受注が伸長しており堅調に推移している。

【要 因】

- (1) 天 候 : 気象庁発表「11月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)
◇北・東日本では、上・中旬を中心に暖かい空気に覆われたため、平均気温は東日本でかなり高く、北日本で高かった。
また、北・東・西日本は降水量が少なく、東日本太平洋側を除き日照時間が多かった。
- (2) 営業日数増減 29.9日(前年同月比 ±0.0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 9日(〃 -1日/土曜1日減)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数122店舗)
①増加した:28店、②変化なし:46店、③減少した:48店
- (5) 11月歳時記(歳暮、七五三)の売上(同上/有効回答数85店舗)
①増加した:6店、②変化なし:42店、③減少した:37店

NEWS LETTER

全国百貨店 売上高速報 2018年11月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	530,419,097	100.0	-0.6 (-1.7)
10都市	373,329,715	70.4	0.2 (-0.2)
札幌	13,987,813	2.6	4.1
仙台	6,967,516	1.3	2.5
東京	149,848,907	28.3	0.2
横浜	33,160,472	6.3	-1.1
名古屋	31,801,409	6.0	1.3 (-2.8)
京都	22,019,572	4.2	-0.7
大阪	73,479,674	13.9	0.0
神戸	12,320,342	2.3	-5.2
広島	10,853,578	2.0	-0.5
福岡	18,890,432	3.6	2.7
10都市以外の地区	157,089,382	29.6	-2.3 (-5.2)
北海道	1,563,806	0.3	0.7
東北	7,761,372	1.5	-1.4 (-5.0)
関東	68,259,894	12.9	-3.9 (-9.1)
中部	11,880,155	2.2	-1.5 (-1.9)
近畿	20,564,718	3.9	2.6 (0.3)
中国	12,033,308	2.3	-2.6
四国	8,459,717	1.6	-1.9
九州	26,566,412	5.0	-2.4

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	530,419,097	100.0	-0.6 (-1.7)
紳士服・洋品	38,044,399	7.2	-4.8 (-5.7)
婦人服・洋品	102,280,048	19.3	-3.9 (-5.0)
子供服・洋品	9,422,167	1.8	-7.3 (-7.9)
その他衣料品	10,424,687	2.0	-7.0 (-9.3)
衣 料 品	160,171,301	30.2	-4.5 (-5.7)
身のまわり品	65,256,211	12.3	4.2 (3.2)
化粧品	50,091,841	9.4	5.9 (5.1)
美術・宝飾・貴金属	32,070,727	6.0	7.7 (6.4)
その他雑貨	18,008,902	3.4	0.1 (-1.6)
雑 貨	100,171,470	18.9	5.4 (4.2)
家 具	6,103,302	1.2	12.8 (11.1)
家 電	992,664	0.2	-60.8 (-60.8)
その他家庭用品	13,733,705	2.6	-6.1 (-6.9)
家 庭 用 品	20,829,671	3.9	-7.7 (-8.6)
生 鮮 食 品	30,973,838	5.8	-2.3 (-3.8)
菓 子	39,589,747	7.5	1.8 (0.7)
惣 菜	32,181,353	6.1	-0.1 (-0.9)
その他食料品	53,194,585	10.0	-0.2 (-1.9)
食 料 品	155,939,523	29.4	-0.1 (-1.4)
食 堂 喫 茶	11,956,300	2.3	-3.8 (-5.2)
サ ー ビ ス	5,134,815	1.0	-5.8 (-7.8)
そ の 他	10,959,806	2.1	-3.9 (-3.5)
商 品 券	16,687,441	3.1	-5.3 (-6.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

NEWS LETTER

II. 地区別の動き

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 0.2% (店舗数調整後／2か月連続プラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -2.3% (店舗数調整後／19か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	0.2	0.1	2か月連続プラス
札幌	4.1	0.1	3か月ぶりプラス
仙台	2.5	0.0	3か月ぶりプラス
東京	0.2	0.1	4か月連続プラス
横浜	-1.1	-0.1	4か月ぶりマイナス
名古屋	1.3	0.1	2か月連続プラス
京都	-0.7	-0.0	2か月ぶりマイナス
大阪	+0.0	0.0	2か月連続プラス
神戸	-5.2	-0.1	2か月ぶりマイナス
広島	-0.5	-0.0	2か月ぶりマイナス
福岡	2.7	0.1	4か月連続プラス
10都市以外の地区	-2.3	-0.7	19か月連続マイナス
北海道	0.7	0.0	3か月ぶりプラス*
東北	-1.4	-0.0	15か月連続マイナス*
関東	-3.9	-0.5	5か月連続マイナス
中部	-1.5	-0.0	5か月連続マイナス
近畿	2.6	0.1	2か月連続プラス
中国	-2.6	-0.1	8か月連続マイナス*
四国	-1.9	-0.0	2か月ぶりマイナス
九州	-2.4	-0.1	2か月ぶりマイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が24か月連続、身のまわり品が2か月連続のプラスとなった。また、衣料品が5か月連続、家庭用品が35か月連続、食料品が2か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が44か月連続、美術・宝飾・貴金属が3か月連続、菓子が2か月連続、家具が3か月ぶり、その他雑貨が5か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.6	—	2か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-4.8	-0.4	5か月連続マイナス
婦人服・洋品	-3.9	-0.8	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-7.3	-0.1	5か月連続マイナス
その他衣料品	-7.0	-0.1	37か月連続マイナス
衣料品	-4.5	-1.4	5か月連続マイナス
身のまわり品	4.2	0.5	2か月連続プラス
化粧品	5.9	0.5	44か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	7.7	0.4	3か月連続プラス*
その他雑貨	0.1	0.0	5か月ぶりプラス*
雑貨	5.4	1.0	24か月連続プラス
家具	12.8	0.1	3か月ぶりプラス
家電	-60.8	-0.3	3か月連続マイナス
その他家庭用品	-6.1	-0.2	32か月連続マイナス
家庭用品	-7.7	-0.3	35か月連続マイナス
生鮮食品	-2.3	-0.1	2か月ぶりマイナス*
菓子	1.8	0.1	2か月連続プラス*
惣菜	-0.1	-0.0	2か月ぶりマイナス*
その他食料品	-0.2	-0.0	2か月ぶりマイナス*
食料品	-0.1	-0.0	2か月ぶりマイナス
食堂喫茶	-3.8	-0.1	19か月連続マイナス
サービス	-5.8	-0.1	12か月連続マイナス
その他	-3.9	-0.1	2か月ぶりマイナス
商品券	-5.3	-0.2	93か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

平成30年11月 東京地区百貨店売上高概況

平成30年12月21日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,498億円余
2. 前年同月比	0.2% (4か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭0.1%(90.5%) : 非店頭1.2%(9.5%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成30年10月対比±0店)
5. 総店舗面積	839,231㎡ (前年同月比: -0.7%)
6. 総従業員数	17,884人 (前年同月比: -1.9%)
7. 3か月移動平均値	4-6月 3.4%、5-7月 1.0%、6-8月 1.1%、 7-9月 -1.2%、8-10月 1.5%、9-11月 1.0%

[参考] 平成29年11月の売上高増減率は3.8%

【特 徴】

- 11月は、高気温により冬物商材や防寒アイテムが伸び悩み苦戦したが、各社実施の集客策が奏功したことに加え、改装・増床効果も見られ、入店客数は13か月連続プラスの0.7%増となった。
- 売上高も0.2%増と4か月連続でプラスした。主要5品目のうち、対前年増となった身のまわり品、雑貨、食料品の3品目が、天候による影響が大きかった主力の衣料品のマイナス分を補う形となった。
- 身のまわり品は、ラグジュアリーブランドのバッグやカジュアルシューズが好調で高伸した。雑貨は、ベースメイクやクリスマスコフレ、イベント企画が国内外顧客に好評だった化粧品や、宝飾など高額品に加え、その他雑貨もプラスした。
- 食料品は、パーティ需要から和洋菓子ともに動き、菓子が3か月連続増。ワインも好調で、その他食料品は4か月連続プラス。歳暮ギフトはネット受注が高伸しており堅調に推移している。一方、衣料品はワンピース、ニット、スカート、ブラウス、カットソー、パンツなどの秋物が動いたものの、コートやジャケットなど重衣料や、ストール、マフラー、帽子、手袋、靴下などの防寒品の動きは鈍かった。
- 12月中間段階の商況は、2.2%減(12/17)で推移している。

【要 因】

- 営業日数増減 30.0日 (前年同月比 ±0.0日)
- 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
 - 増加した: 5店、②変化なし: 8店、③減少した: 6店
- 11月歳時記(歳暮、七五三)の売上 (同上/有効回答数12店舗)
 - 増加した: 1店、②変化なし: 5店、③減少した: 6店

東京地区百貨店 売上高速報 2018年11月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	149,848,907	100.0	0.2
紳士服・洋品	12,706,303	8.5	-4.7
婦人服・洋品	25,143,863	16.8	-3.3
子供服・洋品	2,248,979	1.5	-4.4
その他衣料品	2,577,566	1.7	1.6
衣 料 品	42,676,711	28.5	-3.5
身のまわり品	20,386,408	13.6	7.3
化粧品	15,272,331	10.2	4.9
美術・宝飾・貴金属	9,933,900	6.6	8.0
その他雑貨	6,162,563	4.1	10.7
雑 貨	31,368,794	20.9	7.0
家 具	1,752,733	1.2	0.6
家 電	563,262	0.4	-73.6
その他家庭用品	3,676,629	2.5	-0.2
家 庭 用 品	5,992,624	4.0	-20.7
生 鮮 食 品	6,149,889	4.1	-1.8
菓 子	10,962,945	7.3	4.1
惣 菜	8,071,549	5.4	-0.5
その他食料品	15,261,989	10.2	1.9
食 料 品	40,446,372	27.0	1.4
食 堂 喫 茶	2,770,062	1.8	-6.2
サ ー ビ ス	2,238,317	1.5	0.4
そ の 他	3,969,619	2.6	-8.9

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商 品 券	4,300,725 千円	-3.0
従 業 員 数	17,884 人	-1.9
店 舗 面 積	839,231 m ²	-0.7

営 業 日 数	30.0 日	前 年	30.0 日
---------	--------	-----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が24か月連続、食料品が4か月連続、身のまわり品が2か月連続のプラスとなった。また、家庭用品が3か月連続、衣料品が2か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が44か月連続、その他雑貨が12か月連続、家具、その他食料品が4か月連続、菓子が3か月連続、美術・宝飾・貴金属、その他衣料品が2か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	0.2	—	4か月連続プラス
紳士服・洋品	－4.7	－0.4	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	－3.3	－0.6	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	－4.4	－0.1	2か月連続マイナス
その他衣料品	1.6	0.0	2か月連続プラス
衣料品	－3.5	－1.0	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	7.3	0.9	2か月連続プラス
化粧品	4.9	0.5	44か月連続プラス＊
美術・宝飾・貴金属	8.0	0.5	2か月連続プラス＊
その他雑貨	10.7	0.4	12か月連続プラス＊
雑貨	7.0	1.4	24か月連続プラス
家具	0.6	0.0	4か月連続プラス
家電	－73.6	－1.1	3か月連続マイナス
その他家庭用品	－0.2	－0.0	5か月連続マイナス
家庭用品	－20.7	－1.0	3か月連続マイナス
生鮮食品	－1.8	－0.1	2か月連続マイナス＊
菓子	4.1	0.3	3か月連続プラス＊
惣菜	－0.5	－0.0	4か月ぶりマイナス＊
その他食料品	1.9	0.2	4か月連続プラス＊
食料品	1.4	0.4	4か月連続プラス
食堂喫茶	－6.2	－0.1	3か月連続マイナス
サービス	0.4	0.0	2か月連続プラス
その他	－8.9	－0.3	2か月連続マイナス
商品券	－3.0	－0.1	2か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>